

ディプロマ ポリシー	修士後編課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、授業中研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、博士(情報学)の学位を授与する。 ① 高度な情報技術知識と、情報科学分野の先進的課題に挑戦し、実践的、創造的な成果を達成できること。 ② 必要な情報を自ら収集・分析し、課題を自らに解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 ③ 研究成果を学術論文として作成し、国内外の学術界等で適切な論議に貢献できること。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																				
カリキュラム ポリシー	情報科学分野の第1線で活躍できる優れた研究者を養成すること、および社会人を養成して高度専門職人を養成することを目的とした特種研究科生を養成し、地域研究の推進体制を構築する。 ① 計算機工学・ソフトウェア領域 ② 認知・情報メディア領域 ③ 情報システム・通信ネットワーク領域																																				
大学院 (修士後編課程)	情報科学研究修士後編課程では、修士課程で培った情報技術と研究開発力をさらに高める情報科学体系的総合的な理解を深め、課題解決に体系的、多面的な取組みを主要な高度情報技術者・研究者を養成教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ① 求める人材像 ② 高度な専門知識・技術を駆使して情報科学分野の先進的課題に取り組み高度情報技術者・研究者をめざす人 ③ 情報科学分野の問題発見に優れた能力を有し、体系的に問題解決に取り組むことができる人 ④ 高度情報技術者・研究者として責任を自覚し、社会における問題解決のための計画・立案を立案して実行する意思を有する人																																				
ディプロマ ポリシー	修士後編課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、授業中研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士(情報学)の学位を授与する。 ① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																				
後編 中	<table border="1"> <tr> <td>情報科学特論I 1</td> <td>情報科学特論II 1</td> <td>知能情報システム論 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報科学特論III 1</td> <td>情報科学特論IV 1</td> <td>コンピュータグラフィックス特論 2</td> <td>情報ネットワーク特論 目 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論V 1</td> <td>高度情報特論I 1</td> <td>情報セキュリティ特論 目 1</td> <td>情報ネットワーク特論 目 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論VI 1</td> <td>高度情報特論II 1</td> <td>情報セキュリティ特論 目 1</td> <td>高度情報システム論 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論VII 1</td> <td>情報科学特論VIII 1</td> <td>通信ネットワーク概論 1</td> <td>通信ネットワーク概論 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論IX 1</td> <td>情報科学特論X 1</td> <td>システム最適化理論 2</td> <td>ヒューマンネットワークシステム特論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XI 1</td> <td>情報科学特論XII 1</td> <td>情報システム特論 2</td> <td>知能ソフトウェア特論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XIII 1</td> <td>情報科学特論XIV 1</td> <td>計算機構成論 目 1</td> <td>ソフトウェア概論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XV 1</td> <td>情報科学特論XVI 1</td> <td>ソフトウェア工学特論 1</td> <td>ソフトウェア工学特論 1</td> </tr> </table>	情報科学特論I 1	情報科学特論II 1	知能情報システム論 2		情報科学特論III 1	情報科学特論IV 1	コンピュータグラフィックス特論 2	情報ネットワーク特論 目 1	情報科学特論V 1	高度情報特論I 1	情報セキュリティ特論 目 1	情報ネットワーク特論 目 1	情報科学特論VI 1	高度情報特論II 1	情報セキュリティ特論 目 1	高度情報システム論 1	情報科学特論VII 1	情報科学特論VIII 1	通信ネットワーク概論 1	通信ネットワーク概論 1	情報科学特論IX 1	情報科学特論X 1	システム最適化理論 2	ヒューマンネットワークシステム特論 2	情報科学特論XI 1	情報科学特論XII 1	情報システム特論 2	知能ソフトウェア特論 2	情報科学特論XIII 1	情報科学特論XIV 1	計算機構成論 目 1	ソフトウェア概論 2	情報科学特論XV 1	情報科学特論XVI 1	ソフトウェア工学特論 1	ソフトウェア工学特論 1
情報科学特論I 1	情報科学特論II 1	知能情報システム論 2																																			
情報科学特論III 1	情報科学特論IV 1	コンピュータグラフィックス特論 2	情報ネットワーク特論 目 1																																		
情報科学特論V 1	高度情報特論I 1	情報セキュリティ特論 目 1	情報ネットワーク特論 目 1																																		
情報科学特論VI 1	高度情報特論II 1	情報セキュリティ特論 目 1	高度情報システム論 1																																		
情報科学特論VII 1	情報科学特論VIII 1	通信ネットワーク概論 1	通信ネットワーク概論 1																																		
情報科学特論IX 1	情報科学特論X 1	システム最適化理論 2	ヒューマンネットワークシステム特論 2																																		
情報科学特論XI 1	情報科学特論XII 1	情報システム特論 2	知能ソフトウェア特論 2																																		
情報科学特論XIII 1	情報科学特論XIV 1	計算機構成論 目 1	ソフトウェア概論 2																																		
情報科学特論XV 1	情報科学特論XVI 1	ソフトウェア工学特論 1	ソフトウェア工学特論 1																																		
後編 前	<table border="1"> <tr> <td>情報科学特論I 1</td> <td>情報科学特論II 1</td> <td>知能情報システム論 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報科学特論III 1</td> <td>情報科学特論IV 1</td> <td>コンピュータグラフィックス特論 2</td> <td>情報ネットワーク特論 目 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論V 1</td> <td>高度情報特論I 1</td> <td>情報セキュリティ特論 目 1</td> <td>情報ネットワーク特論 目 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論VI 1</td> <td>高度情報特論II 1</td> <td>情報セキュリティ特論 目 1</td> <td>高度情報システム論 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論VII 1</td> <td>情報科学特論VIII 1</td> <td>通信ネットワーク概論 1</td> <td>通信ネットワーク概論 1</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論IX 1</td> <td>情報科学特論X 1</td> <td>システム最適化理論 2</td> <td>ヒューマンネットワークシステム特論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XI 1</td> <td>情報科学特論XII 1</td> <td>情報システム特論 2</td> <td>知能ソフトウェア特論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XIII 1</td> <td>情報科学特論XIV 1</td> <td>計算機構成論 目 1</td> <td>ソフトウェア概論 2</td> </tr> <tr> <td>情報科学特論XV 1</td> <td>情報科学特論XVI 1</td> <td>ソフトウェア工学特論 1</td> <td>ソフトウェア工学特論 1</td> </tr> </table>	情報科学特論I 1	情報科学特論II 1	知能情報システム論 2		情報科学特論III 1	情報科学特論IV 1	コンピュータグラフィックス特論 2	情報ネットワーク特論 目 1	情報科学特論V 1	高度情報特論I 1	情報セキュリティ特論 目 1	情報ネットワーク特論 目 1	情報科学特論VI 1	高度情報特論II 1	情報セキュリティ特論 目 1	高度情報システム論 1	情報科学特論VII 1	情報科学特論VIII 1	通信ネットワーク概論 1	通信ネットワーク概論 1	情報科学特論IX 1	情報科学特論X 1	システム最適化理論 2	ヒューマンネットワークシステム特論 2	情報科学特論XI 1	情報科学特論XII 1	情報システム特論 2	知能ソフトウェア特論 2	情報科学特論XIII 1	情報科学特論XIV 1	計算機構成論 目 1	ソフトウェア概論 2	情報科学特論XV 1	情報科学特論XVI 1	ソフトウェア工学特論 1	ソフトウェア工学特論 1
情報科学特論I 1	情報科学特論II 1	知能情報システム論 2																																			
情報科学特論III 1	情報科学特論IV 1	コンピュータグラフィックス特論 2	情報ネットワーク特論 目 1																																		
情報科学特論V 1	高度情報特論I 1	情報セキュリティ特論 目 1	情報ネットワーク特論 目 1																																		
情報科学特論VI 1	高度情報特論II 1	情報セキュリティ特論 目 1	高度情報システム論 1																																		
情報科学特論VII 1	情報科学特論VIII 1	通信ネットワーク概論 1	通信ネットワーク概論 1																																		
情報科学特論IX 1	情報科学特論X 1	システム最適化理論 2	ヒューマンネットワークシステム特論 2																																		
情報科学特論XI 1	情報科学特論XII 1	情報システム特論 2	知能ソフトウェア特論 2																																		
情報科学特論XIII 1	情報科学特論XIV 1	計算機構成論 目 1	ソフトウェア概論 2																																		
情報科学特論XV 1	情報科学特論XVI 1	ソフトウェア工学特論 1	ソフトウェア工学特論 1																																		
分科	<table border="1"> <tr> <td>情報基礎領域</td> <td>情報専門領域</td> <td>実習</td> <td>研究</td> </tr> </table>	情報基礎領域	情報専門領域	実習	研究																																
情報基礎領域	情報専門領域	実習	研究																																		
システム ポリシー	情報科学分野の社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識・創造的な能力を備え、また社会実用性をもった情報技術専門職人を養成することを目的として「情報倫理」、「情報セキュリティ」、「実習」、「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成する。 ① 「研究」領域では、「情報科学特論」によって得た研究テーマについて実践し、修士論文として発表できる能力を養う。 ② 研究活動の発展を促すための「実習」で「情報科学特論」や「情報科学実習」などの科目を通じて実習を行い、応用研究の発展を促す。 ③ 社会的な課題に対してクラウド技術等を活用できる技術者を育成し、国内外の他大学院と連携したアクティブラーニング実習により実践と応用を高める。																																				
アドミッション ポリシー	情報科学研究修士は、情報分野において高い専門性を必要とする業務を遂行するために必要な能力、およびその基礎となる学識を備え、時代の要請を的確に把握し、国際的に活躍できる高度情報技術者ならびに専門職人の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ① 求める人材像 ② 情報分野における高度な専門知識や実践的技術の修得をめざす人 ③ 情報分野の発展に貢献する研究・開発者をめざす人 ④ 高度な専門知識・技術を駆使し、国際的な課題を解決しようとする人 ⑤ 体系的に学際研究・実践的活動を遂行できる人																																				
ディプロマ ポリシー	修士以上在学して所定の単位を修得し、授業中研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士(情報学)の学位を授与する。 ① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																				
分科 到達目標	<table border="1"> <tr> <td>① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。</td> </tr> </table>	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																			
① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																		
18 単位	32 単位	16 単位	23 単位	18 単位	197 単位																																
卒業に必要な単位数 197単位																																					
4	1	48 単位	37 単位	21 単位	卒業に必要な単位数 197単位																																
3	2	37 単位	21 単位	1	卒業に必要な単位数 197単位																																
2	3	21 単位	1	1	卒業に必要な単位数 197単位																																
1	4	1	1	1	卒業に必要な単位数 197単位																																
分科	総合人間学系	総合理学系	キャリア	数理解科学	専門基礎																																
システム ポリシー	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																
アドミッション ポリシー	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。	① 幅広い教養を有し、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解することと、情報科学として社会全体の発展と倫理がより協働的視点から両立して行動すること。 ② 情報科学の発展を促すための高度な情報技術知識と、問題解決力、コミュニケーション力、ソフトウェア・ハードウェア・システムなどの設計および実行を行うこと。 ③ 自身の考えや研究成果を適切な場でのプレゼンテーション能力および効果的に使用するコミュニケーション能力を有すること。 ④ 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学際・学際について調査も高度が認められる者については、在学期間を短縮して修士後編課程を修了することができます。																																